

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(株式会社田中電子)

## SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30様式改定】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																
						1 SDG 1 の 達成 度	2 SDG 2 の 達成 度	3 SDG 3 の 達成 度	4 SDG 4 の 達成 度	5 SDG 5 の 達成 度	6 SDG 6 の 達成 度	7 SDG 7 の 達成 度	8 SDG 8 の 達成 度	9 SDG 9 の 達成 度	10 SDG 10 の 達成 度	11 SDG 11 の 達成 度	12 SDG 12 の 達成 度	13 SDG 13 の 達成 度	14 SDG 14 の 達成 度	15 SDG 15 の 達成 度	16 SDG 16 の 達成 度	17 SDG 17 の 達成 度
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			性別、年齢、国政機や出身などによる差別を防ぐため、社外の担当を設置し、会社として対応できる体制を整えている。CSRにて周知している。				5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8	10.2 10.3							16.1 16.2 16.7			
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			社外の担当を設置し、ハラスメントに対する研修・相談に対応できる体制がある。就業規則・CSRにて周知、全社員と誓約書を締結している。				5.1 5.2 5.5		8.5 8.8									16.1		
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			残業時間を把握し、過度な長期労働が発生しないように管理を行っている。CSRにて周知している。						8.5 8.8											
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			現在外国人労働者はいないが、CSRにて周知しており、会社としてもその様な姿勢で考えている。			4.4			8.7 8.8	10.2 10.3										
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			危険個所については、取引先・及び弊社にて安全対策を行っている。産業医に月1回の巡回をお願いし、指摘された項目に対して対応している。就業規則にて周知している。		3				8											
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			社外の担当を設置し、相談ができる環境を整えている。また、年1回のストレスチェックの実施、産業医への相談が出来るよう配慮している。		3															
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			外国人以外は該当する人がおり、全ての人材が活躍できる様に経営陣が配慮している。また管理職の半数が女性。			5.1 5.5		8.5	10.2 10.3											
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			社内での研修の他、積極的に外部研修への参加（会社負担）を促し、検定等の取得に関しては一部補助を行うなど人材開発は特に重視している。		4	5.5		8	9											
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			同一賃金同一労働についての原則を経営陣が把握し、公正な待遇を行っている。			5.5		8.5	10.2 10.3											
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			産業医に相談したり、社内に委員会を設置し従業員が主体となり健康増進に取り組んでいる。		3			8												
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			従業員が廃棄物の分別、処理方法を共有し、適切に行っている。												11.6 12.4		14.1			
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			温室効果ガスについては把握していないが、電気会社の電気使用量でエネルギー使用量は把握している。					7.3								13				
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	【予定】		本年中にデマンド計を設置し、エネルギー使用量を細かく把握し、抑制していく予定				7.2 7.3								12.4 13.3					
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			有害化学物質は使用していないが、RoHS対応をしている。		3.9		6.3								11.6 12.4					

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			環境に配慮した鉛フリー半田のみ使用し、生物多様性保全に配慮している。																15		
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			再資源化ができる端材等は、分別保管をし、再資源化を行っている業者に委託している。															12.5	14.1		
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			自社の使用量を把握し、節水に努めている。(使用量が少量)									6.4	6.6								
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ		【予定】	取得を検討している。							3.9		6	7					12	13.3	14	15
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ		【予定】	社外への情報開示を検討している。															12.6			
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	再生可能エネルギーの利用を検討している。															13			
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	天然資源の持続的利用を検討している。														12.2	13	14	15	
公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			就業規則により周知を行っている。																	16	16.5
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			重要項目と考え、CSRにより周知を行っている。																	16	
	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			重要項目と考え、CSRにより周知を行っている。										8.2	8.3	9						
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			紙媒体の資料は施錠のできるところに保管、デジタルデータはパスワードをかけ、個人情報を保護している。																	16	
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ			紛争鉱物の扱いは無い、今後も扱わない。																	16	
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			CSR内容に盛り込み、お互いに確認しあっている。							5		8		10		12	13	14	15	16	17
	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	パートナーシップ構築宣言の作成、公表を検討している。				3						8	9	10						17

	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
29 製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			製品のトレーサビリティーが確保されている。				3.9										12.4				
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			品質保証部を設け、顧客と品質についての会議を月1回実施している。年間の品質方針、品質目標を定め、それに従って日々品質の向上を行っている。									9									
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	今後自社製品として開発設計を検討している。						6							12	13	14	15		
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	社会課題を解決するための情報提供、サービス等を検討している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
33 社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			地元の商工会に加入し、地域に根差した経営を行っている。地元住民の雇用を積極的に行っている。				4					9		11	12		14	15		17	
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			近隣のお祭りへの寄付。花火大会の協賛金、地元サッカーチームのスポンサー。学校の評議員、PTA役員など社員が社会活動の際に休みが取りやすい社風づくりをしている。委員会を設置し、従業員が主体的に取り組んでいる。				4							11		14	15		17		
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ			設備の購入や、工場の修繕など地元企業を積極的に活用。 お歳暮等は、地元の物を送るよう配慮している。							8	9		11	12	13						
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			年1回の経営指針発表会、年1回のグループ全体の方針発表会の他、月1回文書での共有をしている。									8	9							17	
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確實に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			就業規則・CSRによる周知。誓約書を社員全員と締結している																	16	
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			経営陣が担っているが、委員会を設置している。組織体系への整備は責任と権限の譲渡とバランスを見て進める。																	16	
39	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本			ステークホルダーとの対話により、適切に対応している。																	16	17
40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ		【予定】	リスクマネジメントの研修への参加を予定している。																		16
41	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility : 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ			CSRを制定し、公開、共有、活用している。																		16
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ		【予定】	BCPIに関しては、取引先を含め検討している。										9	11	13	13.1					16
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ			次期経営者候補の育成、業務やマネジメントの見える化・標準化を進めており、業務の属人化を減らし全て引き継ぎやすい状況を作っている。									8	9							17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進労働者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格      ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定